とり急ぎ
ご挨拶を！
THANKS!
六道館

六道からご挨拶

先日、ほぼ…デビュー以来15年の間続けてきた漫画連載を終了しました。
多少の感慨はあったものの、単行本が出るまでは終了したという気もしないので、
まだ大きな気持ちの区切りがあるわけでもありませんが……
というか読者の方々が作者の気持ちなんかくみ取る義務はありゃしませんし、
そんなことはどうでもいいのです。
ただ作者側から感謝の気持ちを伝えたいという使命感があるだけなのです。

こんな意味の分からないコピー本を手にとっているのは
多少なりとも拙著をご存じの方であると信じつつ……

とりあえず…

永らくのお付き合い本当に…

ありがとうございました！

さて、ご挨拶はいいとして、何から書いたものやら…

商業作家の仁義として、作品内容の根幹に関わるような補足の類はできませんので、
多少の裏話的な補足になります。

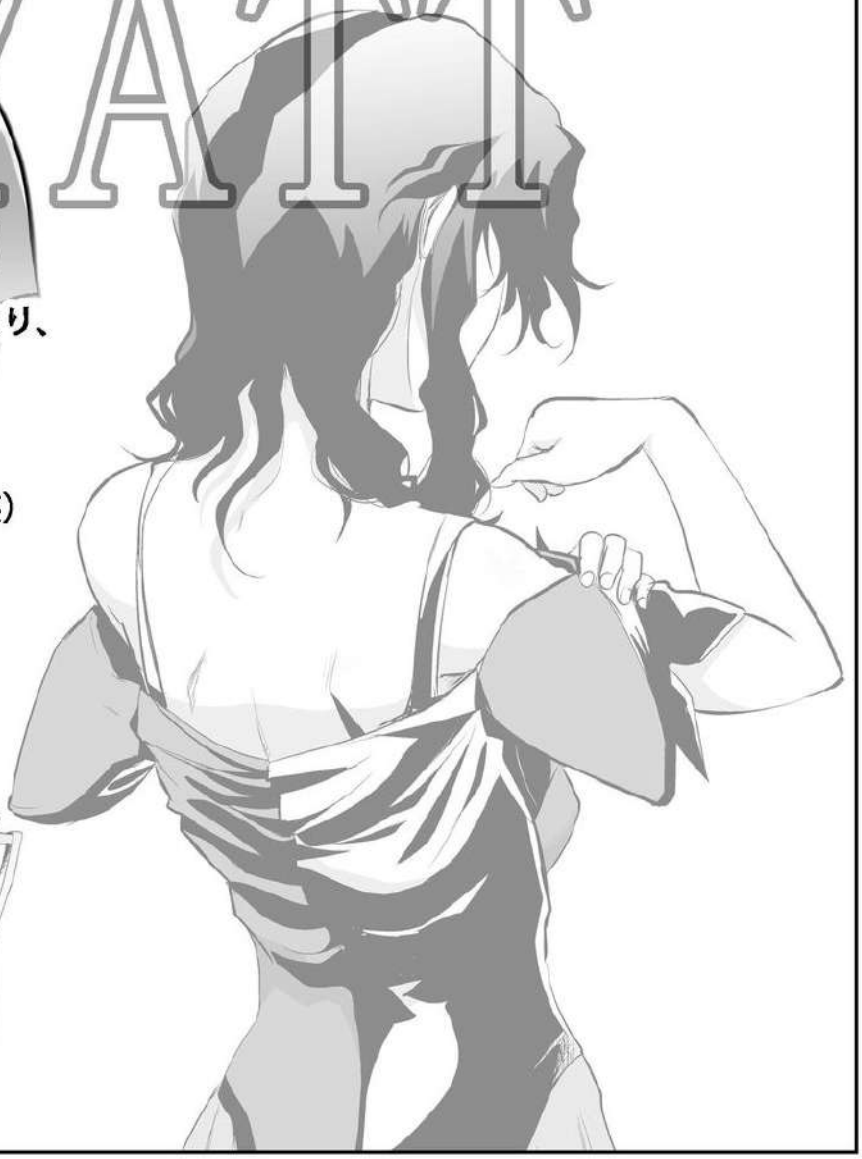
それも巻末に予告した企画につぎ込むかたちになると思いますので、
申訳ありませんがほとんどおっさんの繰り言に近い内容になります。

「ああ、15年前って、携帯電話もまだ一般的じゃなかったし！」
「ピッチ（PHS）まだ現役だったわー」
「ポケベルあっという間に鳴らなくなったわー」
「ギリ、ＭＳ-ＤＯＳ『生き』でしたよ」
とか、20代の方には全くピンとこないのではないでしょうか（笑）
あと……
「作品内の時間経過のファジィさに突っ込まないで下さい（泣）」

一応確定事項として、雑誌連載時と
単行本時ではオチが変わります。
この作者、愚かしくもペースを
読み違えまして、伏線回収や説明が
間に合わなかったので、連載時での
範囲内の辻褄内でオチています。
いわゆる『グッドエンド』です
単行本時は『トゥルーエンド』とやらに
なる予定で……すみませんほんとうに…
……まあ、大したストーリーでも
ないのですが、もう少しバカバカしく
するためにあと数十枚のページ追加を
お許し下さい。
…終了の感慨が沸かないのは、
単行本が出るまで休む暇が全くない
せいもあるんです。

HYATT

あと、以前…数年前から
アニメが○○ごと１田先生より、
「渡辺を幸せにしやがれ」
とのご要望というか
お叱りがございました。
……幸せってなんだろう（笑）
どうやら作者の人間性が
試されているようです。



制作形態の移行のお話を少々。
全180話中、110話以降から
フルデジタル原稿に切り替わっています。
その後も130話あたりまでは出力入稿で、
その後ようやくデータ入稿に切り替わりました。
恐ろしい事に全てのスクリーントーンは
無用の物となりました、
なんだかんだとダンボール数箱分です。
勿体ないので専門学校に寄付しました、
どこかで誰かに使って
もらえていれば幸いです…
細かく説明しても意味はありませんが、
写植方式も変わり、刷り出しの確認方法も
変化しました。
切り替わり時、大方の編集者は、
「データだと原稿を受け取った実感がない」と
感慨を漏らしていました。

ELGALLA

エルガーラは終盤において、なぜか一番の
常識人サイドにまわってしまいました。
「キャラが勝手に動く」とはよく言われる
文言ですが、この場合構成力が不足していたと
いうことでしかないので、慚愧に堪えません。
…もっと上手くボケに回したかった。

クロスオーバーについて少々

ちなみに、エクセルサーガは最終的に
他作品と世界観を共有しています。
やっちまったよクロスオーバーと
いうやつです。
あくまで世界観の共有であって、
キャラの共有ではありませんが。

4巻あたりで伏線を張ってから、
延々「どうしようか無かった事にして
ばっくれようか」と悩んできました。
若い頃にやらかした中２設定は、
ハンパに大人になった段階で
ものすごく恥ずかしくなるものです。
・・ですがこれがさらに年を取ると羞恥心が
一回りするらしく、
「好きなもんは好きなんじゃ」と
おっさん特有の開き直りが――――
…わかっていた事ですが、
言い訳ばかりの見苦しい
本になりつつあります、
本当に申し訳ありません。

MISAKI

美咲と岩田に関しては、岩田の設定も含めてほぼ変更は
ありませんでした。
単行本時に後日談も含めてもう少しフォローします。

このお話はバカ話です。
どこか気の迷いでＳＦチックな
ファンタジー色も入りましたが、
基本的に全ての設定は、
手の付けられないキャラクターが
どうしようもない行動を取るために
作られています。
ただ、いかんせん長すぎました。
時代は変わり、描き手も不変ではいられません。
そして我が身を振り返れば、とてものこと
10数年を耐える作品を著せるほどの
器だったとは思えません。

そんな中、15年の歳月を経て、
打ち切られることもなく無く終了を迎える事が
出来たのは、みんなどうかして――

もとい、話の分かりすぎる編集サイドと、
有能なスタッフ諸氏と、
辛抱強く継続して読んでくださった読者の方々の
貢献だけで、その理由の99%を締めていると
確信しています。

そして1%分だけ、周囲に迷惑をかけ続けながら
ではありますが、
ただただ、そんな作品を描き続けてきたおバカが
・・・・・

――少しだけ達成感を感じることをご容赦下さい。

次回予告

２０１１冬！　コミックマーケット81にて

「エクセル・サーガ」

終了記念本

という名目の作者吊し上げ広場

制作予定！

危険なゲスト陣を予定！

――君もさ

一度彼らから
原稿取ってごらんよ

きっと
自分のやってきたことを
思い知るから

因果応報の予感

THANKS!

□　奥付　□

誌名：　とり急ぎご挨拶を

発行：六道館

著者：六道神士

発行日：2011年08月14日

発行イベント：コミックマーケット80

印刷所　：　俺んち

URL：http://www.rikudoukan.com/

本書内容の権利につきましては、その全てが作者に帰します。
が、本書の複製、再配布目的のデータアップロードに関して
営利目的以外であれば、こんなコピー誌にどうこう言うつもりはありません。
営利目的で利用して儲けることができたら大した物だと思いますし。